

ジベレリン処理と花かす落としが一度にできる ブドウの花冠取り器

ブドウの花冠は開花後もすぐには脱落しないため、灰色かび病菌の二次感染源や傷果の原因になります。その耕種的防除法として「花かす（主として花冠）落とし」が奨励されています。しかし、開花期はジベレリン処理や新梢管理等多くの作業が重なる農繁期のため、花かす落としは遅れがちになります。そこで、「巨峰」系ブドウの第1回ジベレリン処理と花かす落としを一度にできる道具「花冠取り器」を考案（実用新案第3129972号）したので、その概要を紹介します。

☆ 技術の概要

1. 花冠取り器は、ジベレリン浸漬用のカップ上部に花穂整形後の花穂が通過できる円形ブラシを取り付けた道具です（図 a）。
2. 満開期に第1回ジベレリン処理を行う品種に対して、花穂をジベレリン溶液に浸漬すると同時に、ブラシで花冠をこすり落とせます（図 b）
3. ジベレリン溶液に花穂を浸漬しただけでは、花冠を取り除く効果は数%程度ですが、花冠取り器の場合、処理直後に約半数の花冠を取り除けます。「巨峰」の場合、処理2日後には、慣行区（カップのみ）の花冠除去率は約40%であったのに対して、花冠取り器区は70%でした。
4. 花冠取り器の処理による小花の損傷や落花はほとんどありません。また、ブラシが原因で果面に傷つくことはありません。
5. 果実品質への悪影響はありません。

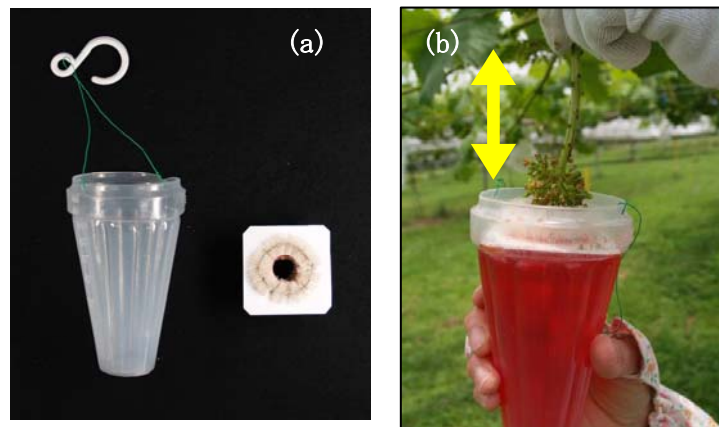


図 花冠取り器（試作品）の構成 (a) と作業例 (b)

☆ 活用面での留意点

1. 開花期間中に花かすを取り除くことができるため、灰色かび病の二次感染防止ならびに傷果発生の軽減に寄与します。
2. 花冠取り器によって大部分の花かすは開花期中に脱落しますが、品種によっては仕上げの花かす落としが必要です。
3. 花かすをよく取り除くため、花穂を2～3回程度ブラシで往復させます。
4. 詳細については、(独) 農研機構・果樹研究所・ブドウ・カキ研究領域 (TEL: 0846-45-4719、電子メール: xx145112@naro.affrc.go.jp) にお問合せください。

(果樹研究所 ブドウ・カキ研究領域 上席研究員 薬師寺博)